

サッポロHDが業績予想を修正 直ちに格付に影響なし。今後の業績回復を見守る

以下は、サッポロホールディングス株式会社（証券コード：2501）が20/12期業績予想の修正を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は本日、20/12期業績予想の修正を発表した。修正後の予想は、売上収益 4,360 億円（前回予想 4,445 億円）、事業利益 25 億円（同 10 億円）、最終損益は 158 億円の赤字（同 65 億円の赤字）である。国内外の酒類販売は概ね従前の想定どおりだが、新型コロナウイルス感染症の再拡大で、外食や食品飲料の事業環境が厳しく推移している。事業利益は販促費削減の効果などで上方修正となるものの、飲料子会社のポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社が保有する固定資産の減損損失（約 110 億円）を計上するため、営業損益以下で赤字幅が拡大する見込みとなった。なお、同減損損失以外のその他の営業費用（早期退職優遇制度の一時費用など）は、前回予想から大きな変化はないもようである。
- (2) 最終損益の赤字幅が大きく、20/12 期末において財務基盤は毀損が避けられない。ただ、自己資本水準（19/12 期末 1,741 億円）を踏まえれば、一時的な業績悪化に対しては相応の財務耐久力が認められる。加えて、20/12 期の諸施策の効果で、今後は固定費負担が軽減されてくる。安定収益源の不動産を含め、当面の事業環境に楽観的な見通しは持ちにくいだが、21/12 期以降、業績は持ち直しに向かうと考えられる。このため、今回の業績予想修正をもって直ちに格付を見直す必要はないと考えている。JCR では今後、各事業の業績動向のほか、財務基盤を早期に修復していきけるかなどに注目していく。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

【参考】

発行体：サッポロホールディングス株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル